

新登場 Lenovo 3000 V100 Notebook

129,990円~

(税込)

デュアルコアCPU搭載

送料無料

Click! ▶▶▶

MSN ホーム Hotmail ニュース ショッピング マネー スペース

ウェブ検索:

検索

新毎
間日

[2006年 6月 18日]

社会

事件

話題

教育

人事

訃報

天気

学芸

皇室

スポーツ

エンターテインメント

暮らし

サイエンス

政治

経済・IT

国際

地域ニュース

English

記事検索

検索

フォトジャーナル

二覧

オリックス：本柳が04年
8月以来の白星 阪神は打
線低調

動画ニュース

二覧

TBSnews-i
シ社製エレベーター、トラ
ブル発生の瞬間

速報 | 今日の話題 | 特集 | 毎日の視点 | コラム | フォトジャーナル | 動画 | ランキング | ニュースな言葉

ニューストップ > 社会 > 学芸 > 書評・今週の本棚 > 記事全文

■NEC 17型SXGA液晶付ビジネスPC 69,930円税込

※ 注目情報 ■【コエンザイムQ10 最高濃度】透明モチ肌セット42%OFF！

■今すぐチェック！【夏休みの海外旅行】早め予約で割引・特典あり

記事全文

今週の本棚：村上陽一郎・評 『モナ・リザと数学...』＝ビューレント・アータレイ
著

◇『モナ・リザと数学ーダ・ヴィンチの芸術と科学』

(化学同人・2310円) 電話075・352・3373

◇時空駆けめぐる博覧強記の語り

レオナルドを巡る現代のおとぎ話が、小説に映画に大流行なのだそう。例によって流行には背を向ける性分なので、読む気も観る気も全くないが、この書は、レオナルドを題材にしているが、巷にあふれるそうした傑作とは縁がない。

レオナルドは「万能の天才」と呼ばれる。画家として誰もがその名を知っているが、生涯に多くの絵画作品を残したわけではない（その中に不朽の「最後の晩餐」と「モナ・リザ」がある）。もともとギルドから離れた職人として、何人かのパトロンを得ながら、土木工事や建築の設計・施工に携わる職人であった。その立場から、言い換えれば「知識人」ではない立場から、自然への鋭い目を光らせ、そこから独力で掴（つか）み取った知識を駆使して、様々な技術上の工夫を考えた人物である。その領域は今で言えば、解剖学、流体力学、力学、数学などに及び、工夫も自転車や飛行機から潜水艦に到るとされている。そのかれの仕事で、「科学」と「芸術」という二つの側面から、総合的に迫ろうとするのが本書である。

C・P・スノーは、かつて二つの文化（理系文化と文系文化）の断絶を警告し、自ら科学者と小説家とを並立させようとした。小説家としてのスノーは成功したとは言いが、本書の著者も、自ら物理学者であると同時に画家として立ち、かつ名声を得てきた（画家としての才能の一部は、本書でのスケッチでも、明かされている）。その意味で、本書のような試みに最適な人物である。というよりも、細分化された専門性が自然な現代にあっては、そのような試み自体が至難であることを思わされる。

著者の論点の中心は、自然の中にある数学的な秩序（それを追求するのが「科学」である）と、その人為的再現（それが「芸術」ということになる）とを、様々な形で明確化するところにある。それは、第六章「自然がつくる芸術」という章に最も鮮やかである。そこでは物理学における対称性や生物学におけるらせんなどを引きながら、神聖比率や黄金比率、フィボナッチ数列などを基礎に、綿密な分析が試みられる。植物の蔓（つる）や枝の付き方はもとより、人体や顔貌などについても、こうした分析は適用される。西欧的な観点が強いのは否めないが、日本への関心は忘れられていない。

業界レポート(PR)



- ▶13年連続世界一の会社
- ▶ちょいエロオヤジ解雇
(提供：インテリジェンス)

年収800～2000万
ハイクラスのスカウト！

MSN関連チャンネル

- ▶MSN天気予報
- ▶MSNスポーツ
- ▶MSNマネー
- ▶MSN求人・アルバイト



3日で行けちゃう♪
2万円からの海外



スター商品のセット
今だけ＼おトク／

こうした試みは、現代では、マーティン・ガードナーなどに前例があるものの、どちらかと言えば数学と科学にスタンスが置かれていたのに反して、ここでは「芸術」への平等な目配りこそが、本書の著者の特徴であり特長である。また創作の面では同じくエッシャーやバックミンスター・フラーの例があるが、本書ではより分析的である。

もう一つの本書の特徴は、時間と空間を自由に駆けめぐる語り口にあり、エジプトのピラミッドが論じられるかと思えば、ダリの絵が引かれるというわけで、歴史における著者の博覧強記振りが偲ばれるし、大部の百科事典を、一卷に凝縮したような感さえ有り、読後に与えられる充実感は大い。

ただ「科学」と「芸術」とは、ともに後期近代に成立したジャンルであり、レオナルドの時代には「科学者」という社会的職能者も、「芸術家」というそれもともに存在してはいなかった（例えば「芸術家」の作品は作者一人のものであるが、当時の絵画や彫刻は、請け負った工房全体の作品であった）、という観点がどこかに設定されていれば、本書の記述はより「歴史的」になり得たのではないか、という思いがする。（高木隆司、佐柳信男・訳）

毎日新聞 2006年6月18日 東京朝刊

バックナンバー

一覧

- 18日 藤森照信・評 『タワー 内藤多仲と三塔物語』
村上陽一郎・評 『モナ・リザと数学…』＝ビューレント・アートレイ著
『ラストゴングは打ち鳴らされた』＝織田淳太郎・著
『歴史探索の手法―岩船地蔵を追って』＝福田アジオ・著
『映画の中で出逢う「駅」』＝臼井幸彦・著
- 11日 五百旗頭真・評 『核兵器と日米関係』＝黒崎輝・著📖
川本三郎・評 『世界SF映画全史』＝北島明弘・著📖
中村桂子・評 『日本語の歴史』＝山口仲美・著📖
海部宣男・評 『氷河期の「発見」…』＝エドモンド・ブレア・ボウルズ著📖
森谷正規・評 『シルクロードの水と緑は…』＝日高敏隆、中尾正義・編📖
丸谷オー・評 『忘れえぬ人』＝山口瞳・著📖
『壊れかた指南』＝筒井康隆・著
『地球の食卓』＝P・メンツェル、F・ダルージオ著
『読む哲学事典』＝田島正樹・著
- 根井雅弘さんほか

